

和歌山病院での実習を終えて



石原 誠都

今回、第三内科の実習の一環として、和歌山病院で2日間の実習をさせていただきました。普段、和歌山県立医科大学で実習を行っているのですが、新鮮な環境で勉強することができました。今回の実習では、主にセミナーで結核とレントゲンの読み方について教えていただきました。結核に関しては、基本的な知識を教えていただいただけでなく、実際にN95マスクをして病棟を見学することもできたので、とても勉強になりました。レントゲンの読み方に関しては、原理から丁寧に説明してくださったので、普段固まっている頭を柔軟にする事ができ、途中でわからないところがあると、立ち止まって理解できるまで説明してくださったので、じっくりと、自らの考えで読み方を学ぶことができました。この実習で普段読めなかったレントゲンが少し分かるようになりました。

通常の大学での実習では、病棟や検査の見学に行って患者さんと接する機会が多いので、今回のようにしっかり座学をする時間を与えていただき、ありがとうございました。また院長先生のお話もとても有意義なもので、宮子姫の話なども面白く、大変楽しい時間を過ごさせていただきました。2日間と短い間ではありましたが、お世話になりました。感謝申し上げます。